



SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ

2025.4.9(No.3239)
週報 No.34

ロータリーはステージ・
みんなが輝く!

第2560地区ガバナー／南雲 博文

会 長／渡 辺 良 一

会長エレクト／柳 取 崇 之 (クラブ奉仕A)

副 会 長／西 山 徳 芳

幹 事／船 越 良 則

S A A／落 合 孝 夫

会 計／小 林 吾 郎

直 前 会 長／吉 井 直 樹

会長ノミニー／小 林 吾 郎 (クラブ奉仕B)

例会日／毎週水曜日 12:30～

例会場及び事務局／

三條市旭町2-5-10 三條信用金庫本店内

例会場／TEL 34-3311

事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp

https://www.sanjorotary.site

■本日の出席会員数:57名中41名

■先々週出席率:83.93%

【ビジター】

・三條RAC

鈴木 樹生さん、笠原 天地さん

【先週のメイクアップ】

[4.2] 地区ラーニング委員会

ビギナーラーニング準備会議(長岡)へ

・関川 博さん

[4.3] 長岡西RCへ

・田久保 良さん

[4.3] 三條RACへ

・渡部 宏さん、高橋 俊樹さん、

・成田 秀雄さん

[4.4] 市内7クラブ現・次期会長・幹事会へ

・渡辺 良一さん、柳取 崇之さん、

・船越 良則さん、早川 滝徳さん

[4.5] 第2560地区 財団・

米山感謝の集い午餐会(新潟)へ

・小越 憲泰さん、野崎喜一郎さん、

・石黒 良行さん

[4.7] 市内4RC会長・幹事会へ

・柳取 崇之さん、早川 滝徳さん

[4.8] 三條北RCへ

・斎藤 弘文さん、丸山 行彦さん、

・中林 順一さん、中村 和彦さん



2024～2025 年度国際ロータリーのテーマ



「頂きへ」

会長挨拶

渡辺良一 会長



皆さんこんにちは。ご挨拶いたします。
アクトの皆さんようこそ、ライラ研修報告
よろしく願いいたします。

来週4月17日、いよいよ新竹城中RCが
三條を訪問します。友好クラブ委員会の皆
さんが、一生懸命準備をしております。当

日はご協力よろしくお願いいたします。

本日の話題をお話いたします。

今日も大切なロータリアンと言うよりも、本当に親しい友人と私との思い出のことをお話いたします。

その方とはゴルフのライバルでした。永遠のスクラッチ!

お酒をよく飲みに行きました。飲めない人なのに行く店ごとに必ずボトルがキープしてありました。

地区大会のゴルフ大会で実行委員長だった彼は、翌日朝が早いからと言って飲んだくれて寝入っている我々をしり目に、夜中何軒もコンビニを一人で回りおにぎりを買い占め、

挙句の果てにホテルに鍵を掛けられ、自分の車で夜を明かした。そんな責任感のとても強い男でした。ポール・ハリスが理想とした「お互いに信頼できる公正な取引をして、仕事上の付き合いが、友情にまで発展するような仲間を作る」そんな付き合いが本当にできるのではないかと思わせてくれる、男でした。

亡くなる一か月ほど前に「話がある」と言うので事務所にお伺いしたところ、「医者に行ってきた。余命一ヶ月と言われた。」と、深い深い湖の底のような穏やかな目で、呟くように言っていました。

それは、覚悟を決めた男の言葉でした。

そして、それが彼との最後の時間になりました。とても残念で、悔しくて、悲しい時間でした。いつまでも側に居て欲しい、友人でした。

中村信一さん 4/9 本日が御命日です。

忘れてはいけない尊敬するロータリアンのお話をいたしました。

幹事報告

船越良則 幹事



◎地区事務所より 「ビギナーラーニングのご案内」
日 時 5月31日（土） 14：00～17：00
会 場 長岡市中央公民館（さいわいプラザ）
対 象 2022年7月1日以降に入会された会員
（再入会者は対象外）

◎次週16日（水）の例会は、17日（木）に開催される新竹城中RC調印式・歓迎会の振り替えとなります。
調印式・歓迎会ご欠席の方は、16日（水）に事務局で記帳または他クラブでメイクアップをお願いいたします。

ニコニコBOX

渡辺良一会長

桜が咲き始めました。渡部宏委員長、アクトの皆さん卓話よろしくお願ひいたします。

渡部 宏さん

本日ライラ研修報告をいたします。よろしくお願ひいたします。

西山徳芳さん

今日はライラの報告でRACからの卓話があります。がんばってください。

相場弘介さん

ライラ研修お疲れ様でした。卓話楽しみにしております。

伊藤浩志さん

朝起きたら自宅敷地内の車がへこんでました。新聞配達男性が謝りに来ました。私が新聞配達をしていた販売店の後輩でした。当て逃げせず名乗り出たのは立派とほめてあげました。

杉山幸英さん

桜がほど良い時期になりました。私は夜桜専門です。

菊池 渉さん

セキが出る。念佛のセキなら良いのに、どうもカゼのセキのよう。

吉井直樹さん

桜の開花が待ち遠しいです。本日ライラ報告よろしくお願いします。

野崎喜一郎さん

昨日は小中学校の入学式。今日は黄色い帽子をかぶった一年生が登校しました。黄色い帽子を見たら徐行しましょう。

外山浩玲さん

花粉と黄砂で体調が大変です。渡部さん、鈴木さん、笠原さんよろしくお願いします。

中村友昭さん、飯塚一樹さん、松永隆夫さん、石黒良行さん、歸山 肇さん、関川 博さん、斎藤弘文さん、石倉政雄さん、嘉瀬一洋さん、荻根澤隆雄さん、小越憲泰さん、早川滝徳さん、松永一義さん、落合孝夫さん、石橋育於さん、近藤雄介さん、中村和彦さん、小林卓哉さん、船越良則さん、重山直明さん、白倉徳幸さん、丸山行彦さん、成田秀雄さん

渡部青少年奉仕委員長、三条RAC鈴木さん、笠原さん本日はライラ研修報告ありがとうございます。お話楽しみにしております。

4月9日分	¥ 33,000
今年度累計	¥ 1,061,000



ロータリー米山記念奨学会より
「第39回 米山功労クラブ感謝状」が
届きました。

米山功労クラブは、個人・法人・クラブ扱い
全ての特別寄付金が対象となり、累計額が
100万円を超えるごとに表彰されます。



「ライラ研修報告」



渡部 宏 青少年奉仕委員長

3月29日、30日の2日間村上市
で開催されたライラ研修の報告を
いたします。

参加されたのはローターアクト
などの研修生40名とロータリアン
50名です。三条市からは私とロー
ターアクト2名、三条南RCから青少年奉仕委員長と
三条信用金庫さんの若手2名の計6名の参加でし
た。

設営運営は村上RCから20名が2日間にわたり手
伝っていただき大変ご苦労されたことと思います。
駐車場案内やお弁当の配布・後片付け、懇親会の段
取などしていただきまして頭の下がる思いです。

コロナ禍のライラ研修は、感染予防の観点より
Zoomや短時間での集まりが多かったのですが今回は
久しぶりにフルスペックで行われました。

ロータリーの先輩方はご存じとは思いますがライ
ラ（RYLA）の説明をいたします。

ロータリー、ユース、リーダーシップ、アワード
の頭文字をとったもので日本訳はロータリー青少年
指導者養成プログラムと言います。

目的としまして地域社会の若い人々の指導力およ
び善良な市民としての資質や個人の能力を伸ばすこ
とにロータリアンが直接関与できる特別な機会を設
けるため、地元ロータリーや地区によって開催さ
れ、様々なトピックのプレゼンテーション、アク
ティビティ、ワークショップなどを含む総合的なイ
ベントです。さらに決して研修生だけのものではな
くロータリアンの育成や自身の経験や知識を若い世
代へと継承する上での重要な機会を提供するもので
あります。

研修1日目は南雲ガバナーの点鐘に始まり、その
後講演に移り午前の部は日本銀行新潟支店長の平形
様から「これからの日本経済について」と題したお
話をさせていただきました。

ちなみに日銀新潟支店長は代々新潟RCに入ること
になっているらしく現在も新潟RCに在籍しておりま
す。

講演内容は主に日本とアメリカのことでした。

現状わが国の経済は一部に弱めの動きもみられる
が引き続き緩やかに回復しており、県内景気は原材
料高の影響などを受けつつも持ち直しているとのこ
とですが、懸念点はトランプ政権の政策と日本の成
長力や中小企業の回復の遅れで、中小企業において



例会の様子

は一人当たりの営業利益が大企業に比べて低く、円安のメリットも大企業ほど受けてないそうです。

また、今後のマーケットは消費者物価も次第に落ち着きますが金利上昇で円高傾向だそうです。

そしてアメリカのトランプの政策は矛盾が多く、移民排除と言っておきながらも博士号を持つような優秀な方も多くIT分野などでの活躍している現状や、白人でも鎮静剤のオーバードーズが蔓延しているなど幅広い観点からお話しをしていただきました。

午後に入りまして2つ目の基調講演が野村證券様から「積立投資で築く賢い資産形成」と題しましてNISAやイデコの仕組み、積立投資の重要性などを話していただきました。

現在、金融の学びに関しては政府が推進する一つになっており、金融庁もその必要性を認識し中高生向け資料を提供したりしております。今までは金融教育はタブー視されていましたが、今後は金融リテラシーを磨くことが重要となってきました。

夜はロータリアン、研修生一緒の懇親会が瀬波温泉で開催されました。

室賀ガバナーエレクトのあいさつで始まり、村上市長 高橋様の乾杯、中締めは村上商工会議所会頭の川崎様が行いました。お二方とも村上RCに在籍しております。私も参加した皆さんと名刺交換やお酒を飲みながら色々お話しさせていただき親交を深めました。

翌日は地方創生の議題で村上町屋商人（あきんど）会会長吉川様から「人形様巡りから町屋再生へ」という演題でお話ししていただきました。

大変エネルギーが豊富な方で町おこしのきっかけは会津の町おこしをやられている方から村上の街の近代化を批判され、せっかくの街並みが無くなるとこの町は終わるとまで言われたそうですが、そこから数多くの反対や困難にめげず大変大きなムーブメントを起こし、それに感銘を受けた人々が次々に協力して今に至っております。

村上駅の駅長もその一人で何とか協力したいということでSLを呼ぶことに成功し、私たちも見学に行きましたが、駅は人であふれ横断幕やゆるキャラのお出迎えがあり大変活気がありました。SLも間近で見ることができ大迫力でした。

その後、実際に村上の街に出て町屋の人形さま巡りを行い、200年前のひな人形などを見学しました。商店街の皆さんが誇りをもって村上のことや歴史のこと、ひな人形の事など丁寧に話していただき、その気持ちがこちらにも伝わりおもてなしの心を感じ

ました。

最後に研修生に修了書を授与して終了です。

2日間を通じて初めてのライラ参加で心配していましたが、皆さんフレンドリーで楽しく研修させていただきライラのことや必要性もよく理解できました。

青少年向けと言いながらも私たちにも大変勉強になる有意義な研修でした。



三條ローターアクトクラブ 鈴木樹生さん

3月29日、30日に開催されました2024-25年度のライラ研修に参加させていただきました。

ローターアクターとして外部の研修生と一緒に勉強する機会というのは今回が初めてで、2023年の夏よりアクトに加入してからコミュニケーション能力がどれほど向上したかのテストとしても挑んでみたのですが、自己評価としては悪くない出来でした。

相手の興味を引き出すアイスブレイクを試み、相手の距離感の詰め方を観察して不快感を与えない頻度で会話を作り、チーム全体に話を振れるよう観察することで堅すぎず抜けすぎない雰囲気を作ることができたという手ごたえを得ました。

これらの技能はアクトの地区行事で育てたもので、あのような場でしっかり発揮できたのは今後の

自信として驕らない程度に持っていたいです。

一方で「この方がアクトに参加してくだされば、きっとすごく楽しいだろうな」という気持ちが先行して話の端々に「アクトどうですか」という言葉や雰囲気を出していたのは大きな反省点でした。

我々からしたらある程度の雰囲気を知っているロータリーさんの行事ですが、研修生さんからしたらよくわからない団体のよくわからない研修会ですので、優先して意識すべきことはそういった方の不安感を払うことであったなと今では思います。

さて、私からは1日目のプログラムについてお話しします。

1日目は経済について3名の講師から講演をいただきました。

紙面の都合でそのうちの日本銀行 新潟支店長の平形様のご講演について抜粋いたします。

日本銀行 新潟支店長の平形様からは戦後から今までの経済の流れの解説と、まさに今混迷している現代経済の台風の目であるドナルド・トランプ大統領の矛盾についてを後半に講演していただきました。

貿易赤字をアメリカの長年のコンプレックスととらえ、関税引き上げを強行せんとするトランプ大統領ですが、世界で一番の信用を持つ米ドルはその強さのあまりただの支払いではなく世界中に投資しているようなものだと考えられており、そんな恵まれた中で世界中に混乱を振りまいてまで貿易赤字の修復を図る必要があるか、とのことでした。

また大統領は並行してアメリカ製造業の復活を掲げていますが、貿易赤字の削減とは相性がよくないうえ、関税引き上げや同じく彼の推し進める移民抑制などで人や技術のやり取りが減少すれば技術の進歩も遅くなるというさらなる矛盾も生まれます。

このような矛盾を抱える国が世界のトップである中で中国が虎視眈々と覇権を狙う、明日何が起こるかわからない世界である一方、日本はゼロ金利を少しずつ改善して他国への円流出を食い止めることで、円安の波に乗りきれなかった中小企業の回復を促そうとしている、とのことでした。

現在こういった政治・経済の流れをご教授いただくというのは大変貴重で、自分で調べようとすれば不正確な情報の山の中から砂金を探すように情報を拾うか、アカデミックな資料に触れて高度な査読をする必要があります。

内容もさることながら、そういった側面でもたいへんありがたい機会だと感じながら聞いておりました。



三条ローターアクトクラブ 笠原天地さん

RYLA研修2日目は、「人形様巡りから町家再生へ」という演題で村上町家商人会会長様より講演をいただきました。

講演後は、それを踏まえての実地研修として町家の人形様巡りを実際に見て回り、最後に実地研修の感想発表といった形で進行していきました。

講演の内容は、近代化へと向かう行政と町内にたった一人で立ち向かった吉川様の、市民による町づくりのお話でした。

吉川様の町づくりの戦いが始まったのは平成10年頃、東京の物産展にて自社製品を販売していた際に出会った、「全国町並み保存連盟」の会長さんから話しかけられたそうです。

その方との会話の中で、当時村上で進んでいた近代化の話が出た際に、会長さんが「再開発で素晴らしい歴史を残す城下町村上を失ったら大変な事になる。お前がそれを食い止める」とお告げを与えていったそうです。

吉川様はお告げに突き動かされるままに、町内の方々に訴えたわけですが、近代化の方向に一致団結している町内を動かすことは出来ませんでした。吉川様自身もその時点では実際に村上の価値を理解するには至っていなかったため、その言葉や行動に再開発を止めるほどの力はありませんでした。

ですが、転機が訪れます。

吉川様の店舗が雑誌に掲載されたのをきっかけに、「鮭が天井から吊るされている光景を見たい」と遥々九州から訪ねてきた方がいらっしゃったそうです。

その方はお目当ての光景だけでなく、鮭を見るにあたって通過した囲炉裏のある茶の間であったり、仏壇や神棚等の町家の生活空間も称賛されたそうです。

その際に吉川様も、当たり前だと思っていた光景こそが村上の魅力になり得るものだったそうです。城下町村上の素晴らしさというものが、吉川様の目にも映るようになったのです。

この体験をきっかけに、生活空間と一緒に公開してくれる協力者を集め、町家公開MAPを作ったことが、近代化に対抗する町づくりの第一歩でした。

そのMAPを手に町を歩く人が現れはじめ手応えを感じたところに、さらに人を集めようと町家に眠る人形たちを生活空間に展示する「町家の人形さま巡

り」が企画されました。

60～70もの参加店舗を集め、様々なPRを行った結果、全国から大勢の観光客が押し寄せたそうです。訪れた観光客の方々は町家や人形を褒め称え、その言葉に町の人々は吉川様のように、自分たちが持つものの価値に気付いていったそうです。

外からの評価によって気付かされるのが一番の薬になると知っている吉川様は、観光客を呼び込むと同時に、地元の人々が誇りを取り戻す機会も作っていったのです。

勢いのままに秋には屏風祭りを行ったり、翌年以降の人形様巡りは町ぐるみになっていたり、勢いは増していきました。

その勢いは黒塚プロジェクトや町家再生プロジェクト等の新たな町おこしへと続いていくこととなりました。結果、市は都市計画を取りやめ、観光の町へと舵を切り、吉川様の行政と町内とを相手取った戦いは勝利に終わりました。

これらの内容については「村上の町おこし」や「黒塚プロジェクト」で検索していただくと詳しい経緯が掲載されたサイトがありますので、ご興味ある方はぜひご覧ください。

実際に私もプログラム中とライラ終了後に人形様巡りを見て回りました。

古い時代に作られた人形ではありましたが、かなり良い状態でした。受け継いで来た方々が非常に大

事にしていたのだと、その状態からも伝わってきました。

人形を飾る店舗の方も、誇らしげな顔で生きた知識を披露してくださり、地域に根差す良いイベントであると感じられました。

2日目の研修を経て、人との出会いや見分を広める事は、新たな視点を得て自分の世界を広げるだけでなく、見落としがちな身近な誇りを再発見していくことにも繋がるのかなと感じました。

三条RACという団体が地区内RACの中でも手本となる例会が出来ているという現状も、三条ロータリークラブさんが毎例会来てくださり、外からの評価してくださるからこそです。

その評価が誇りや反省に繋がり、活動の大きな糧となっています。我々に与えられた良い環境に感謝しつつ、その環境に相応しい振る舞いをしていかなければならないと改めて感じたところです。

講演の最後に「リーダーシップに必要なのは信念と実行である」「自分が動かなければ何も変えられない」と吉川様は仰られていました。

その信念を抱いた時に実行する実力を付けるため、引き続き三条RACとしても自己研鑽に努めていきたいと思います。



次週例会 4月 23日「外部卓話」
三条市教育総務課 野水裕晃 様

次々週例会 4月 30日 クラブ休会

